

2021年4月24日(土)

小豆島・福田のものがたりを影絵で上演

コロナ禍における福武ハウスの挑戦
——地域で続けるアートプロジェクトの可能性

福武ハウス（小豆島町福田地区、香川県）では、地域の魅力を伝え続ける活動に取り組んできました。今回は、より多くの人に福田の色鮮やかな記憶をものがたりで届け、地域の様々なエピソードをもとに作り上げた影絵「福田うみやまこばなし」の上演を4月24日（土）に行います。

報道各社様におかれましては、影絵上演の告知協力をお願いするとともに、この機会にぜひご取材賜りますようお願い申し上げます。



2020年9月の影絵上演の様子

開催概要

影絵タイトル	福田うみやまこばなし
日時	2021年4月24日（土）18:00-19:00（17:30開場）
会場	福武ハウス（香川県小豆島町福田718-1）
影絵	川村亘平齋（影絵師・音楽家）
音楽	オオルタイチ（音楽家）、石田多朗（作曲家・プロデューサー）
定員	100名 ※オンラインによる事前予約制
料金	無料
主催	公益財団法人 福武財団
影絵に関する問い合わせ	福武ハウス（担当：神谷・李） tel 0879-62-9301

※4月23日（金）-4月25日（日）の3日間、福武ハウスアジアギャラリー（入館料510円 / 予約不要）も開館いたします。

※新型コロナウイルスの感染予防・防止のため、影絵上映にお越しの際には、ベネッセアートサイト直島のウェブサイトからの事前予約をお願いしています。（混雑時には入場等を調整させていただく場合がございます）

取材・掲載の際には、下記までご連絡ください。

ベネッセアートサイト直島 広報担当 宮重・太田

〒761-3110 香川県香川郡直島町2249-7 Tel.087-892-2550 Fax.087-892-2011

E-mail press@fukutake-artmuseum.jp <https://benesse-artsite.jp/>

福武ハウスのこれまでの取り組み

忘れられていく地域の物語を影絵にして残す

2020年9月、小豆島・福田地区を拠点に活動する福武ハウスでは、影絵師の川村亘平齋氏と福田で暮らす親子14名が福田地区のお年寄りにインタビューを行い、口伝、噂話、人々の記憶を元に影絵ものがたり『福田うみやまこぼなし』をつくりました。影絵制作にあたりインタビューをしていると、今は森になってしまった耕作放棄地には「ヤマモモ」、埋め立てられた浜には「いりこ」、神社の木には子どもたちを脅かす「お化け」、集落にはノミを叩く「石工の音」、料亭からは「三味線」が聴こえ、舞台では住民が演じる「浄瑠璃」が行われていた等、かつて集落にあった鮮やかな物語がたくさん見えてきました。

クラウドファンディングへの挑戦

コロナの感染拡大の影響により、当初予定していた2020年9月の影絵上演はできませんでしたが、私たちは多くの方に福田の魅力に触れてもらいたいと思い、2020年12月11日から2021年1月18日までの41日間、地域の魅力を伝えるためのクラウドファンディングを行いました。その結果、目標額の70万円を超える86万6千円のご支援を93名の方より頂戴しました。



2020年9月の影絵上演の様子

アートプロジェクトで地域に貢献する

今回クラウドファンディングに寄せられた支援は、「お金」だけではありませんでした。小豆島への移住を検討していた方の「今は島に行くことができないので、自分でできることをしたい」という応援メッセージや、福田を離れた方の「里帰りができないから地元のために力になりたい」などのコメントをいただきました。またクラウドファンディング終了後も、小豆島出身の方から「福田での影絵の上演を通じ地域の価値を新たに創り、未来へと引き継ぐ活動を支援したい」と、在職されている三菱UFJ銀行の社会貢献活動の取り組みの一環として寄付をいただきました。地域でアートプロジェクトを続けていくことが結果となるのは簡単な事ではありませんが、一人ひとりの小豆島への「思い」が「行動」になって、私たちの背中を押してくれました。

取材・掲載の際には、担当者までご連絡いただくか、専用ページよりお申し込みください。

| 取材申し込み専用ページ | <https://benesse-artsite.jp/contact/press/>